NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞に親しもう

2．学校名

大阪府岸和田市立土生中学校

3．実践者名（代表者名）

井嶋　大輔

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　6クラス　239人

6．単元（本時の学習課題）名

「気になる見出しを探そう」

7．目標（狙い）

新聞の見出しの中から、自分の興味のあるものを選び、内容を整理する。また、記事に対する自分の考えを書く。

8．評価の視点

自分の考えを表現できているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「意見文を書こう」(3時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)新聞を手に取り、自分の興味・関心に沿って題材を選定する。(1時間)
(2)切り取った新聞記事から、事実を抜き出し、内容を整理する。(1時間)
(3)記事に対する感想や、自分の考えをまとめる。NIE活動を通しての感想をまとめる(1時間)

※活動終了後、意見文を教室掲示。

(留意点)
・新聞の構成を知り、適切な題材を選べるようにする。
・身近な出来事や話題となっている社会の出来事に関心を持たせる。
・他人の意見を知り、自分の意見と比べる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

その日の一面から記事を選ぶものが多かった。また、日頃新聞を手にする生徒も少なかったため、新聞を手にして懸命に記事を読む姿が印象的だった。今回の活動を通して新聞に興味をもった生徒も多く見られた。

12．成果と課題

普段見慣れない新聞を使うことで、生徒の意欲を高められた。実践の目標は自分の意見を書くことしていたが、生徒たちの「知りたい」「もっと読みたい」という関心を高められたことは成果であると思う。
課題として、継続的に学習活動ができなかったことが挙げられる。国語だけでなく、人権教育や総合学習など、様々な学習に取り入れることで、より効果的な指導が可能になると思う。
今後は、新聞を活用してより広がりのある学習活動を計画し、実践していきたい。